

「黒井不法投棄は犯罪」を認めさせよう！

4月19日に呼びかけた会合の内容をお知らせします。(有)膳家代表取締役を名乗る上田某が賃貸借契約を無視して産業廃棄物を含む建設残土等約15,000m³を放置したまま姿を隠して16年が過ぎましたが、詐欺による不法投棄、不動産侵奪が継続しており、「金山さんへの犯罪行為は継続したままで時効は成立していないことは明らかです。」(弁護士に確認しました)

下関市は犯罪被害者等基本法(2004年制定)に基づき、昨年12月に下関市犯罪被害者等支援条例(支援条例)を公布し、この4月1日から施行となりました。

【支援条例の注目点】

(基本理念) 第3条 犯罪被害者等の支援は、犯罪被害者等が個人の尊厳を重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有することを旨として、推進されなければならない。

(市の責務) 第4条 市は、前条に定める基本理念にのっとり、犯罪被害者等の支援に関し、市民等、事業者、学校等及び関係機関等との適切な役割分担を踏まえて、市の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

19日の会合では各参加者がこの条例の意義を認め金山氏が犯罪被害者として下関市に対して相談に行けると理解しました。下関市は犯罪被害者の金山氏の苦しみを理解して、支援要請に応じてもらえるでしょう。今後の進捗状況について引き続きお知らせしていきます。また本『黒い巨塔の間に光を』の読後の感想も寄せられ、励まされています。ぜひこの本を読んでこの問題の真実をご理解いただきますようよろしくお願いいたします。お問合せはニッコリ会まで。

= 朝鮮学校差別 憲法と国際人権条約違反は明らか =

4月4日、韓国憲法裁判所は尹大統領を全員一致の罷免判決。市民の津波のような大行動が法の支配を貫徹させ韓国民主義の威力を示しました。

一方で日本国憲法9条を空洞化させてきた自公政権は今も継続してマイノリティの朝鮮学校に対して国際人権(ヒューマンライツ)条約委員会等からの朝鮮学校高校無償化への是正勧告を無視して、子どもたちの学ぶ権利を踏みにじて来ました。これは憲法98条2項(条約順守義務)違反となります。安倍政権の閣議決定による省令改悪により朝鮮学校も対象としていた法律から外し、以来13年間も朝鮮学校のみを高校無償化から排除し続け、山口県は教育補助金(年間一人5万円×生徒数)のカットし、下関市も学校全体に年間(20万円+一人千円)という僅かな補助金すらカットしています。同じ県民、市民としてこのような差別は許されません。

私たちはこれに対し抗議行動を毎月県庁玄関前で続けています(本年4月で158回)。補助金支給については今なお継続する県や東京都の区も多いのですが、山口県と下関市は国に右ならえです。戦後80

第10回ニッコリ会総会**6月14日(土) 13:30~16:00**

下関市民活動センター・中会議室

(駅前人工地盤から入ります)

不法投棄を犯罪としない下関市の闇に光を当てた本『黒い巨塔の間に光を』好評発売中 1冊 2千円

山口朝鮮初中級学校大運動会**5月25日(日) 10:00~12:00**

朝鮮学校運動場

※焼肉昼食会は会費2千円

事前お申込み⇒090-4141-6245

年差別にさらされながら来年4月に山口朝鮮初中級学校は創立70周年を迎えます。

日本は国連の各ヒューマンライツ条約に付随する個人通報制度もなく、国内人権機関もない人権後進国です。元国連職員でもある伊勢崎健治氏は拉致問題解決や日朝政府間交渉の再開のためにも「国連の人種差別撤廃委員会からも「差別である」と指摘を受けているこの国内問題(朝鮮学校排除)の解決は必須だ。」と述べています。戦後80年、世界に通用しない民族差別が続いていますが、私たち主権者には公平と正義に反する朝鮮学校差別を無くす権利と責任があります。ぜひ力を合わせ差別を止めさせましょう。

抗議行動 毎月第2水曜
午前11時半県庁玄関前集合

長生炭鉱の遺骨収容支援求める市民団体に厚労省面会

「対応検討」



国との面会后に記者会見する「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」の井上洋子共同代表

太平洋戦争中、朝鮮半島出身の労働者を含む計183人が亡くなった山口県宇部市の海底炭鉱「長生炭鉱」での遺骨収容を巡り、地元の市民団体「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会」と厚生労働省の担当者らが22日、東京都内で面会した。刻む会が国に坑道内の調査への財政的支援などを求めたことに対し、厚労省側は「専門的知見も踏まえ、対応を検討する」と述べた。

22日の面会で厚労省側は首相の答弁を受け、専門家から意見を聞く考えを示す一方で、刻む会と福岡資麿厚労相の面会や、専門家を同行させての現地視察などについては明確な回答を示さなかった。

同会の井上洋子共同代表は面会後の記者会見

第3次クラウドファンディング開始！

4月22日～7月21日の90日間

目標700万円！

障害物除去工事に500万円、日韓潜水調査の継続に200万円、計700万円目標

■第4次潜水調査はピーヤ(排気塔)で

6月18日(水)正午～/19日(木)午前9時～

《募金先》

【口座番号】01590-7-32405

【名義】長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

(ゆうちょ銀行)

店番 159 店名一五九 口座番号 0032405

で「めげずにここまで頑張ってきた。国には遺骨収容に向けて何をできるのか一緒に検討してほしい」と訴えた。次回の調査は6月に予定している。

(毎日新聞デジタル25-4-22より)

●詳しくは「刻む会」ホームページで見れます。

[長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 - chouseitankou](http://chouseitankou.com)